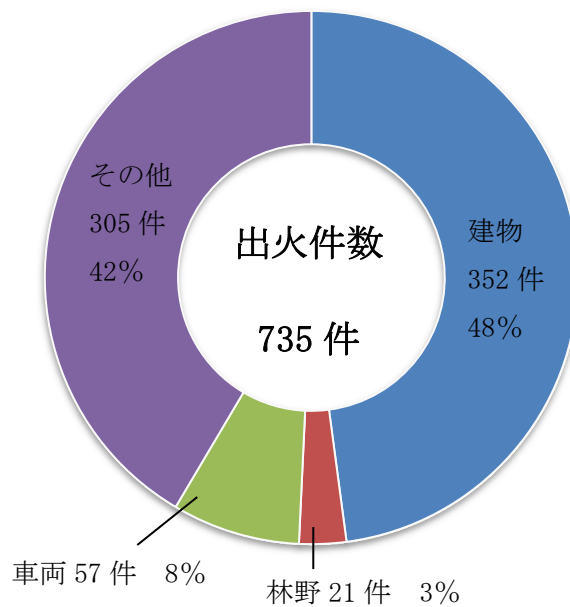


2 出火件数と出火率

(1) 出火件数の構成割合

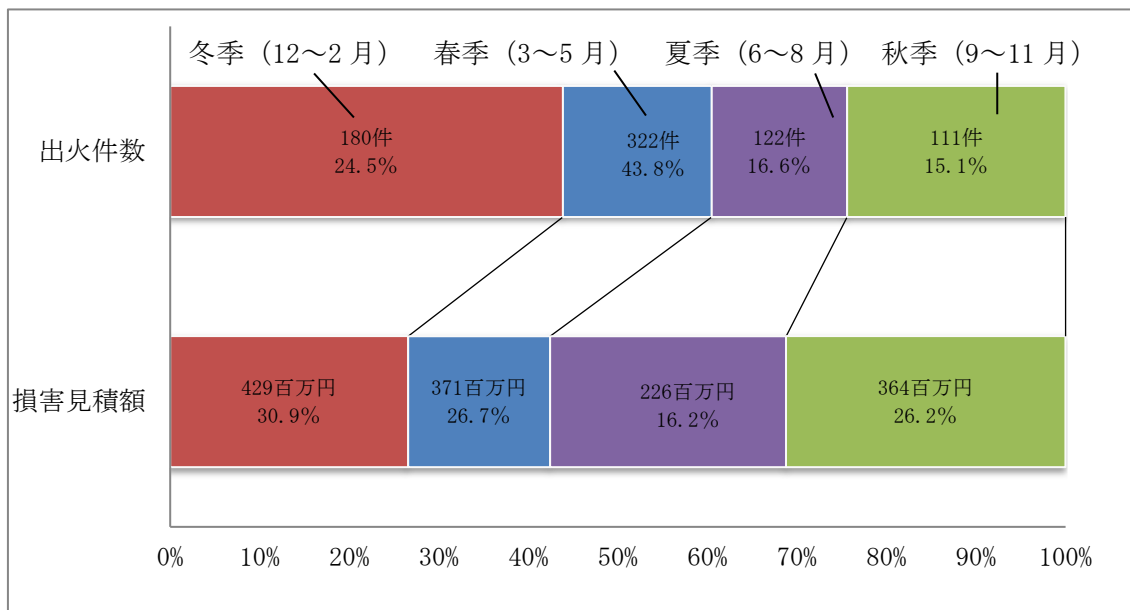
火災種別を、建物、林野、車両、船舶、航空機、その他火災の6種類に分類し、その構成比をみると、建物火災が全火災の約48%を占めている。次いで、車両火災、林野火災、その他火災の順となっており、県内では船舶及び航空機火災の発生はなかった。(第2図)



第2図 出火件数と出火率

(2) 四季別出火状況

出火件数を四季別にみると、春季がもっとも多く38.1%を占め、次いで冬季、夏季の順となっている。(第3図)



第3図 四季別出火状況

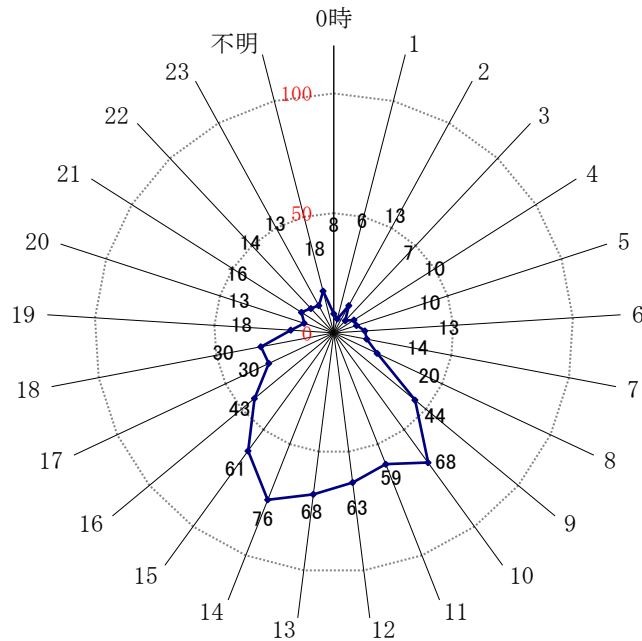
(3) 出火率

出火率（人口1万人当りの出火件数）は、長野県平均3.6%である。

市町村別の出火件数で上位をみると、長野市88件、松本市62件、佐久市50件、安曇野市46件、上田市45件となっている。(R4火災統計第9表：市町村別火災発生状況)

(4) 時間帯別出火件数

時間帯別の総出火件数では、9 時台から 16 時台までの間に多く、出火件数の約 69.7% がこの時間帯に発生している。(第 4 図)



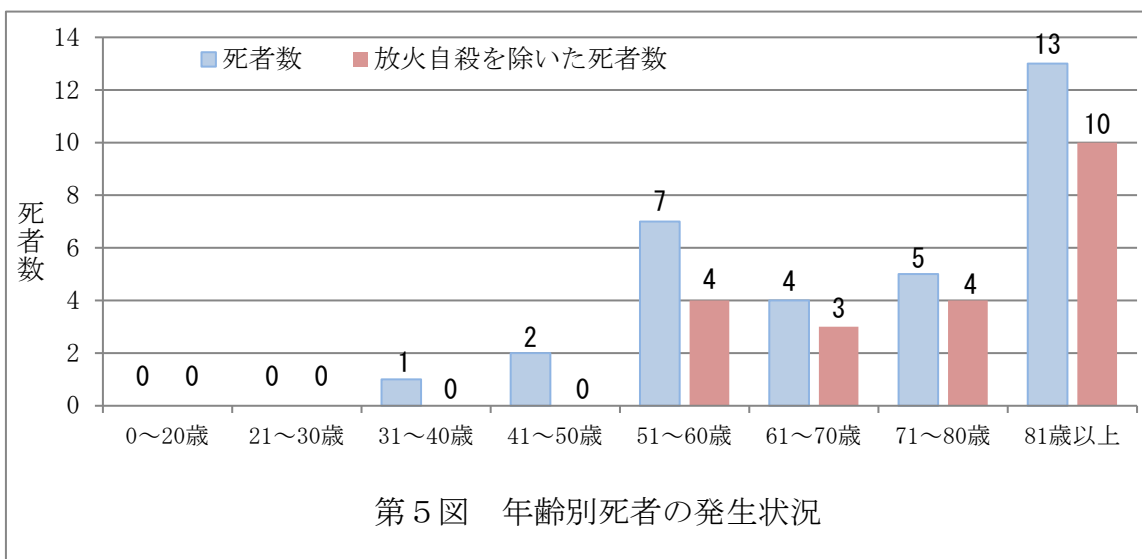
第 4 図 時間帯別出火件数

3 死傷者

(1) 死者

火災による死者は 32 人で、前年と比べ 3 人減少している。

死者のうち放火自殺を除いた死者は 21 人で、そのうち 65 歳以上の者は 15 人(約 71%) となっている。(第 5 図)



第 5 図 年齢別死者の発生状況

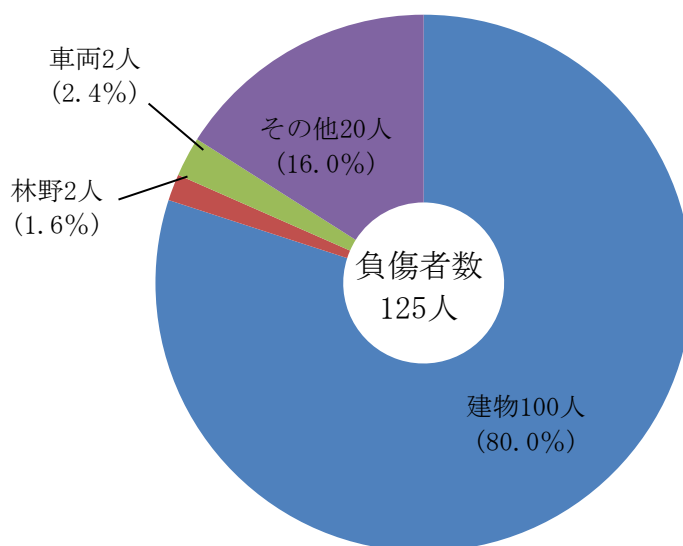
火災による死者（放火自殺者を除く。）のうち、住宅火災による死者数は20人で、そのうち65歳以上の者14人（約70%）となっている。（第3表）

第3表 住宅火災の発火源別死者数

発火源	死者数	65才以上	
		割合	割合
不明	9	28.1%	50.0%
ストーブ	5	15.6%	10.0%
放火（疑い含む）	12	37.5%	0.0%
灯火	1	3.1%	10.0%
こたつ	1	3.1%	10.0%
たばこ	1	3.1%	0.0%
電灯電話等の配線	3	9.4%	20.0%
計	32	100.0%	100.0%

(2) 負傷者

火災による負傷者は125人で、そのうち100人（約80%）が建物火災により発生している。（第6図）

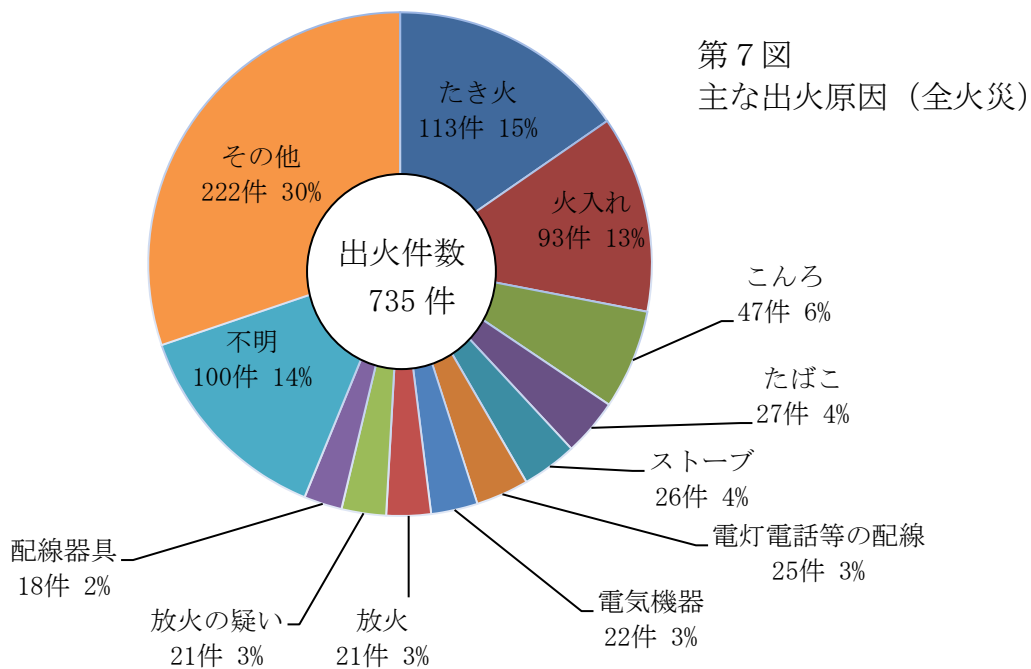


第6図 火災別負傷者数

4 出火原因

火災の出火原因は、たき火が113件で全火災の約15%を占め、次いで火入れ、こんろ、

たばこ、ストーブの順となっている。(第7図)



建物火災は全火災の約48%を占めており、その主な出火原因と損害額は第8図のとおりとなっている。

